

安心してくらさせる 山科を

山科区 京都市会議員

北山ただお

KITAYAMA TADAO



倉林明子新参議院議員とともに(2013年7月25日)

北山ただお KITAYAMA TADAO PROFILE

1948年生まれ。龍谷大卒。東山企業組合勤務。民青同盟東地区常任委員。83年京都市議当選。市会予決算特別委員長、人権擁護委員、都市計画審議会委員など歴任。

市会議員(8期)、党市議団副団長。

市民のくらしを 守って奮闘

KITAYAMA TADAO



市議会で

京都市議会に送っていただいて31年を迎えています。私は、市会本会議や常任委員会、予算特別委員会などでの質疑を通して、「増税反対」や「バス路線の拡大」など市民の皆さんの願いを届け、暮らしの向上、平和の願いなどを4人の市長と論戦を行い奮闘してきました。皆様の今後とも変わらぬご支援を宜しくお願いいたします。



本会議で代表質問

山科・鏡山学区に バス路線が実現

昨年3月、鏡山学区でバス路線が実現し、「鏡山循環系統バス出発式」が行われました。鏡山学区自治連合会や「鏡山の足を守る会」の皆さんが、4000筆以上の署名をあつめ、要望されてきたもので、「生活支援バス」運行の自主的な取り組みなどの努力が実って実現したものです。バスの運行は、午前10時台と午後3時台の1日2本。京阪バスでは「1年間の実践」と位置づけているもので、大いに利用者を増やして、運行を継続させることが大切になります。



「鏡山循環系統バス出発式」に参加
(2013年3月23日)

市民の足を守る 学習交流集会

昨年4月、「市民の足を守る学習交流集会」が開催され、日本共産党議員団を代表して市会の報告を行いました。佛教大学講師の榎田基明氏の講演のあと、山科区鏡山、東山区今熊野、北区雲ヶ畑からバス運行の取り組みの経過や経験などが報告されました。

また、西京区、伏見区、南区の代表から、敬老乗車証利用拡大の運動、エコ学区でのバス運行、バス路線拡大の運動についての発言がありました。いずれも、公共交通の充実と利便性拡大を願うもので、「息長く運動を続けよう」との決意が示されました。



「市民の足を守る学習交流集会」で報告
(2013年4月20日)

ムダで危険な 焼却灰溶融施設を断念

京都市の焼却灰溶融施設が契約解除となりました。この施設は、ごみを焼却した後の灰を1300度の高温で溶かし体積を半分にするものですが、試運転からトラブルが続き、しかも稼働した場合に年間20億円以上の経費がかかるムダ遣いの施設です。日本共産党議員団と多くの市民は、「ムダで危険な施設はいらない」と運動を



溶融施設の事故現場を視察する市議団
(2010年5月17日)

水道料金値上げの 中止を

重ね、私も市会本会議などで稼働中止を求めてきました。

昨年10月1日の検針分から水道料金が値上げされました。その前日、自治体要求連絡会の代表が市役所にこられて、「水道料金値上げの中止を求める署名」を提出し、「値上げはやめてください」と要請されました。私もこの署名提出に同席しました。

日本共産党市会議員団は、同日、「10月からの値上げは中止せよ」との「声明」を発表。私と加藤あい議員が、記者会見で発表しました。



「水道料金値上げ中止を求める署名」の提出に同席(2013年9月30日)

市民とともに

KITAYAMA TADAO



2013国民平和大行進に参加(2013年6月21日)

核兵器廃絶へ 平和大行進に参加

「2013国民平和大行進」は、6月21日、山科駅前のラクト公園で滋賀県行進団から京都に引き継がれました。山科では、この大行進に先立って山科総合庁舎前からラクト公園まで網の目行進を行いました。公園での引き継ぎ式では、滋賀県代表団と引き継ぐ京都代表団の決意をこめたあいさつがされ、続いて私が日本共産党を代表して連帯のあいさつをしました。



地域の皆さんと排水路の改善へ市に申し入れ(2013年5月)

排水路の改善へ 市に申し入れ

昨年5月、山科の関係地域の皆さんと一緒に、新たに集まった署名を持って再度、排水路の改善について市に要望に行きました。所長さんは、「ご要望はよくわかります。何とかご要望に応えたいのですが、予算の関係もありますのでお時間をください。調査は始めています」とのお返事でした。

排水は山科区民のみならず、市民や観光客等たくさんの方に親しまれていきます。一日も早く改善されるよう要望していきます。

第30回「山科平和のための戦争展」に参加



「山科平和のための戦争展」に倉林参院議員、宮田市議員と参加(2013年8月23日)

第30回目の「山科平和のための戦争展」が、昨年8月22日と23日の両日、四ノ宮円光寺参道、四宮六地藏祭りの一角で開催されました。23日には、倉林明子参院議員が参加しました。さっそく、辻田会長や西川事務局長、宮田市会議員、役員の皆さんと一緒に展示物の説明を行いました。倉林参院議員には、「暑い中、毎年の開催ご苦労様です。戦争の悲惨さを伝えると

ともに、平和のためにもこれからも頑張ってください」とエールを送っていただきました。安倍内閣の危険な改悪の道を許さず、憲法9条を守っていきましょう。

「山科平和の鐘」

68回目の終戦記念日の8月15日。お昼の12時、厳しい暑さの中でしたが、山科平和を守る会の皆さんと一緒に御陵の永興寺で、平和への祈りを誓って鐘を撞きました。

参加した小学生在が、「戦争はしてはいけないと思います」と感想を述べ、参加者からの拍手を受けました。



永興寺にて平和への祈りの鐘撞き(2013年8月15日)



●市会議員として30年で表彰を受ける(2013年5月)
10年で表彰された市議とともに



●町内会長として地蔵盆で(2013年8月)

トピックス

第35回山科区民もみじまつりに2000人以上が参加

雨が断続的に降る中で、2000人以上が参加。中央舞台では、こくた恵二衆院議員の記念講演、倉林明子参院議員のあいさつ、私と宮田市会議員のあいさつと続きました。私は、「一緒に市会議員として活躍された倉林参院議員やこくた衆院議員の勝利で、国会が皆さんに近づきました。要求実現、暮らしを守る政治実現に力を合わせましょう」とあいさつしました。



●山科区民まつりに2000人以上が参加(2013年11月10日)



市民の「のちと」安全を守り、 要求実現の先頭に

台風18号豪雨

被害状況の調査に入り、住民を激励、 復旧支援に全力

2013年台風18号による豪雨のため、山科でも多くの被害が発生。ただちに被害状況の調査に入り、住民を激励するとともに、復旧支援に全力をあげました。(当時の「活動日誌」より)

● 9月16日

京都市災害対策本部から刻々と避難準備情報、避難勧告などの情報が届き、住民からの連絡も相次ぎました。
小山大宅線の道路には、土砂が流れて車の往来にも影響が。土木事務所・消防署に連絡して、駆けつけていただきました。
多くの地域で被害が出ており、安朱



土石流の被害現場

● 9月17日

台風の影響で16日から地下鉄東西線が市役所前から小野駅まで運休に。御陵駅で京阪京津線の掘削部分に水が入りトンネルにも浸入したものの。30台のポンプでくみ出しが行われています。
また、地下鉄運休に伴って、烏丸御池駅から山科駅まで「代行バス」が運



行されています。

山科でも引き続き被害の連絡が届き、夕方、2カ所で土石流の被害現場に行き、お話を聞きしました。

台風18号による災害ごみのクリーンセンター持ち込みについては、処理手数料が全額免除されることになりました。運転免許証など住所地を示すものが必要です。

● 9月18日

地下鉄運休に伴う「代行バス」は、山科駅〜烏丸御池間を市バス、山科駅〜小野駅間を京阪バスが走っています。朝、山科駅で調査しましたが、通勤・通学の方で一杯です。地下鉄東西線は4日間運休しました。

夕方、宮田市議らとともに、浸水被害のあったお宅を訪問し、お話を聞きしました。四ノ宮川があふれて床上浸水された方は、家族揃っての清掃中でした。その他の地域でも、橋げたに流木が挟まったままの所があるなど、台風の爪あとが残っていました。



地域の要求が次々に実現へ

西野山団地市営住宅東側の道路舗装

道路のでこぼこや舗装の劣化などの補修の要望が。今回、自治会の要望もあり舗装が実現。



渋谷通りの道路舗装

水道工事が終わっての道路復旧工事です。



山科総合庁舎西側に横断歩道が実現

右左折する場合に歩行者や自転車等の通行も多いため、かねてから要望がありました。

カーブミラー設置

大宅学区の草海道町で、かねてからの要望のカーブミラーが設置されました。





市民の「のちと安全を守り、
要求実現の先頭に

消費増税中止を訴える 街頭宣伝 (2013年10月23日)

10月23日夕方、消費増税廃止各界連絡会の皆さんと一緒に、消費増税中止を訴える街頭宣伝活動を行いました。私もマイクを取って増税中止の訴えをしました。
参加された皆さんは、ティッシュにビラをはさんで配布していきます。短時間で用意したビラ入りティッシュがなくなり、関心の高さがうかがえます。



倉林参院議員と 「国会報告街頭宣伝」 (2013年10月20日)

10月20日午後4時から山科駅前、倉林明子参院議員を招いての「国会報告街頭宣伝」を行い、私が司会を務めました。

最初に、山科民商会長の宮村さんが「営業を破壊する消費増税に国民力を合わせて中止の運動を起そう。参院選で躍進した日本共産党に期待して

被災者に配布する米や水を仕分けし、ボランティアセンターで雑魚寝状態の就寝です。

福島支援 (2日目)

朝から暴風雨警報が発令され、雨が激しく降るなか、5つのグループに分かれて、仮設住宅や借り上げ住宅を訪問しました。訪問先では、「よく来てくれた。ありがとうございます。原発の再稼働はダメです」など、感謝の言葉が寄せられました。

午後は、浪江町の現地視察を行いました。田畑の中の漁船・折れた電柱・耕作のできない田畑など、震災から復興というには程遠い事態に、政府への怒りが沸きました。
夜は、自治会長さんをお交際の懇談会。ご苦労されている皆さんに大きな拍手を送りました。

福島支援 (3日目)

朝5時半ごろに起床。6時過ぎから全員で後片付けや清掃を行い、7時に各地区・地域の車に分かれて現地出発。



います」と激励のごあいさつ。

倉林明子参院議員は、「経済産業委員会の理事になり、閉会中の委員会を開かせて汚染水問題を追及しました。消費増税ストップに力を合わせましょう。国民の知る権利を奪う秘密保護法案を国会に上程させないためがんばります」と元気に報告されました。久しぶりの倉林節に大きな拍手です。

総勢65名で福島支援の ボランティア活動に参加 (2013年4月2日～4日)

福島支援 (1日目)

4月2日から4日まで、京都市会議員団、府会議員団や各地域からの有志ボランティアの総勢65名で、東日本大震災から2年目の福島の現地ボランティアに参加しました。

早朝5時に京都を出発。12時間かけて夕方5時に現地ボランティアセンターに着きました。そして、翌日から



前日は大変な雨と風でしたが、この日は打って変わってよい天気となり、気持ちよく帰途につくことができました。
写真は、仮設住宅の集会所です。仮設住宅にお住まいの皆さんの不安感や筆舌に尽くしがたいものがあり、今こそ、政治の力で復興に向けての生活と生業、環境改善などに向けた全面的な支援活動が必要だと痛感させられました。

石巻市で仮設住宅を訪問 (2012年8月3日)

2012年8月には、議員団の他都市調査で石巻市の仮設住宅2カ所を訪問。仮設住宅の実態を見せていただき、さまざまなお要望もお聞きしました。

「復興住宅に移るのはいつになるのか」「下水道や道路整備など工事がなかなか進まず見通しが立たない」「京都からわざわざ来ていただき、私たちの話を聞いていただいてうれしいです」など、元気で前向きなお話や要望をお聞きすることができました。



市民とともに 市政を動かす

14人の日本共産党京都市会議員団

14人の日本共産党京都市会議員団は、市民のみなさんと力をあわせ、市民いじめの悪い政治とキッパリ対決して、市議会でもねばり強い論戦をおこなうとともに、つねに建設的な対案を示し、みなさんの切実な要求や願いを次々に実現させてきました。



安倍内閣の暴走にストップを

国民の「知る権利」を奪う秘密保護法の強行成立、消費税増税、社会保障解体、TPP強行、原発推進など、安倍自公政権は、あらゆる分野で暴走を続けています。共産党議員団は、安倍政権の暴走にストップをかける国民的運動の先頭に立つとともに、門川市長に対し「市民のくらしを守る立場から国に対し物を言うべき」と迫ってきました。しかし、市長は国いなりで、消費税増税や社会保障解体も推進の立場です。市長与党も昨年11月市会に56団体から出された「増税中止」の請願を不採択にしました。

秘密保護法は廃止すべき



4月からの消費税増税中止を



ムダな大型公共事業をストップさせる

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

高速道路未着工3路線

共産党議員団は、ムダと環境破壊の市内高速道路建設に当初から反対してきました。残る未着工3路線（堀川線・西大路線・久世橋線）の総事業費は2900億円。計画の中で、「計画の中止を繰り返して求めてきましたが、2012年3月の市議会でも、市長は事実上、「廃止」を表明しました。



未着工3路線

市民サービス切り捨て、職員削減の「京プラン」は撤回を

4年間で250億円の福祉・教育予算を含む経常経費を削る「京（みやこ）プラン」実施計画は、国の構造改革路線をそのまま京都に持ち込むもので、くらしを守るためには、「京（みやこ）プラン」の撤回が必要です。

市バス・地下鉄運賃、水道料金の値上げ中止を

消費税増税にあわせた市バス・地下鉄運賃の値上げ、上下水道料金の値上げが提案されましたが、これに反対して議会で論戦をおこなったのは日本共産党だけでした。他党派・無所属の議員は、昨年10月からの水道料金値上げも含め、すべての値上げ提案に賛成しました。



「市民の宝物」

敬老乗車証を守れ

敬老乗車証について、京都市は、乗るた

台風18号被害への緊急対策と復旧支援に全力

市内にも大きな被害をもたらした昨年9月の台風18号。共産党議員団として、200カ所をこす被害現場を調査し、緊急の対策と復旧支援などについて、京都市に3次の申し入れを行いました。



台風18号の被害対策について京都市に申し入れ

焼却灰溶融施設——契約解除

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

みなさんと力をあわせ、切実な要求を次々に実現

市営住宅の風呂がまは 京都市の責任で取り替えに 請願の紹介議員になったのは共産党だけ。毎年、市に要望してきました。

市バス均一運賃区間が 嵯峨・嵐山地域に拡大

10年来の地域住民のねばり強い運動と市議会での論戦が実ったものです。

西賀茂北部の柵野に 市バス路線が走ることに

西賀茂車庫までの市バス路線延長を求めてきた住民の悲願が実現したものです。

JR太秦駅、阪急西院駅等で バリアフリー化が前進

2014年度はJR桃山駅、阪急嵐山・松尾大社・上桂駅で基本構想が策定されます。